

2023年5月22日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

第 17 回 データビジネス創造コンテストを開催

—Digital Innovators Grand Prix 17 (DIG17) —

「生活家電から考えるエシカルな生活」をテーマに、 未来のエシカルな生活につながるアイデアを募集

慶應義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ (代表: 村井 純) は、株式会社カカクコム (代表取締役社長: 畑 彰之介) のサポートのもと、「第 17 回 データビジネス創造コンテスト — Digital Innovators Grand Prix 17 (略称: DIG 17) —」を開催いたします。

1. 趣旨

本コンテストでは、「生活家電から考えるエシカルな生活」をテーマに、様々な生活家電のアクセスデータやクチコミデータを分析することで、未来のエシカル(ethical 倫理的)な生活につながるアイデアや施策を募集します。

データ活用がもたらすビジネス機会がますます増える中、テクノロジーやデータを活用できる人材が不足しているために、解決されていない課題がたくさんあります。本コンテストでは、幅広い年代の学生たちに、データ分析を通じて社会課題への理解を深め、解決策を提案する機会を提供します。その結果、データを活用できる人材の育成を目指します。

2. 実施概要

■テーマ(目的)

「生活家電から考えるエシカルな生活」

■評価の観点

提供データ活用 ビジネスパートナーが保有しているデータを提案の中で活用できるか

独自データ活用 提供データ以外にもデータを収集・活用できているか

データ解析 データをきちんと解析できているか

実現・継続性 継続的に実現可能なモデル・コストの負担などが考えられているか

新規性 新しい提案ができているか

■スケジュール

申し込み開始2023 年 5 月 22 日 (月)エントリー締切2023 年 8 月 23 日 (水)本選出場チーム発表2023 年 9 月 11 日 (月)

本選発表会・審査会・表彰式 2023 年 9 月 30 日(土) 三田キャンパスにてハイブリッド方式で開催

■応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院の正規課程に所属する生徒・学生

■審査員長

村井 純 慶應義塾大学教授

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

■ビジネスパートナー

株式会社カカクコム

■後援

総務省統計局、独立行政法人 統計センター、国立研究開発法人 科学技術振興機構、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所、一般社団法人 日本統計学会、応用統計学会、一般社団法人 情報処理学会 情報処理教育委員会、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会、一般社団法人 データサイエンティスト協会、一般社団法人 デジタル人材共創連盟

■協力

アクセンチュア株式会社、株式会社ブレインパッド、株式会社デジタルガレージ、株式会社電通デジタル



応募方法は、公式サイトをご覧ください。

第 17 回データビジネス創造コンテスト公式サイト https://dmc-lab. sfc. keio. ac. jp/dig17/

【慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボについて 】

データビジネス創造・ラボは、慶應義塾大学 SFC 研究所*内に設置された、IT、統計、ビジネスデザインの融合方法を研究するグループです。データサイエンティスト育成カリキュラムの構築、ならびに先進的なビッグデータの集計・解析手法等の共同研究を行うとともに、2014 年からは、産官学協働のもとデータ分析によって導き出されるアイデアを競い合う「データビジネス創造コンテスト」を開催しています。

※慶應義塾大学 SFC 研究所 https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)に設置された慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所

- *本プレスリリースに掲載されている会社名等は、権利者の商標または登録商標です。
- *本選の観覧、取材等をご希望の方は、下記問合せ先にご連絡をお願いいたします。

【本コンテストに関する問合せ】

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局 E-mail: dig-info@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail: <u>kri-pr@sfc.keio.ac.jp</u>